

コーディネーター

育英館大学副学長・教授

佐賀 孝博（さが たかひろ）氏



枝幸町出身。稚内北星学園短期大学修了。1989年より稚内北星短期大学副手、助手、専任講師、助教授。2000年より4年制大学へ改組転換された稚内北星学園大学情報メディア学部専任講師、助教授、准教授を経て、2009年より教授に就任。2022年より育英館大学に名称変更後も、情報メディア学部情報メディア学科教授として活躍。

現在、副学長・キャリア支援室長を兼任。宗谷管内では稚内市教育委員会委員、北海道枝幸高等学校学校運営協議会委員、北海道稚内高等学校学校評議委員などを務める。専攻分野は情報科学。研究課題は「コンピュータの教育への活用」。

Panelist

五十音順

シンガーソングライター・稚内観光大使 エビナ マスジ（えびな ますじ）氏



えびなマスジHP

稚内市出身。2001年に稚内出身の兄弟ユニット『SE-NO』（セーノ）を弟 蝦名摩守俊氏と共に結成。北海道を中心に精力的に活動し数々のCMタイアップやNHKニュース番組のエンディングテーマなどを担当。稚内市内の学校に積極的にライブを届け、4校に第二校歌を制作する。2015年から『エビナマスジ』としてソロ活動を開始。中西圭三氏がコーラスとして参加したデビューアルバム『UPSTAIRS』を皮切りに、これまでCDを10枚リリース。2024年には自身3枚目のフルアルバム『Gradation』をリリースした。実家の電器店を音楽ホールに改装した「えびなイベントホール」の運営・企画を担当。昨年で10周年を迎え『笑顔が生まれる場所』を届け続けている。

ボラリス・ネイチャーガイド&コンサルタンツ 代表・自然ガイド 嶋崎 暁啓（しまざき としひろ）氏



滝川市生まれ、神奈川県育ち。大学時代に訪れたサロベツの雄大な自然と地域の温かい人々に魅了され、卒業後に移住。サロベツの自然系NPO法人の事務局長としてサロベツ温泉センターの開館や運営に携わり、2022年に独立。

現在は豊富町を拠点に、地域の自然に精通したガイド歴15年以上のプロ・ネイチャーガイドとして活躍。子供達への環境教育や動植物調査にも長年携わり、幅広い専門知識、経験を持つ。現在、豊富町社会教育委員等も務める。専門は「ヒグマの生態」。

芳野牧場・NPO法人 ミナといかん 代表理事 芳野 福一（よしの ふくいち）氏



ミナといかん HP

幌延町間寒別地区で乳牛240頭を飼育する酪農家。牛舎内では乳牛が自由に動き回り自由に寝る「フリーバン方式」を採用し、牛の健康を優先した安全・安心の生乳の生産に尽力。酪農業の傍ら、自身が暮らす間寒別地区300名の集落の持続可能な地域集落を目指すため、2019年から足掛け5年をかけ、2024年4月に「NPO法人 ミナといかん」を設立。代表理事として方策の柱となる「公共私の連携」の実現に向け、地域デマンド交通、住宅の草刈りや除雪、公共施設の維持管理、地域行事支援などの地域活動のリーダーとして活躍する。

枝幸町三笠山展望閣管理人 鷺見 道子（わしみ みちこ）氏



新潟県出身。枝幸町市街地からほど近い、標高172mの三笠山山頂にある「三笠山展望閣」でカフェラウンジを営む管理人。「北越の小京都」と言われる新潟県加茂市にて生まれ育ち、20代の頃に計6回にわたる海外ホームステイや短期留学を経験。結婚後の2002年に枝幸町へ移住。2006年より展望閣2階のカフェラウンジ管理人として、同地を訪れる観光客へのもてなし以外に、17年前からハンドメイドフリーマーケットを開催するなど、地域の子連れのママ友さん達が集う憩いの空間として通称「えさしのお山」のカフェを地域に定着させた。現在、枝幸町社会教育委員長等も務める。

Soya Labo10 シンポジウム

2025/11/29 (土)

開場：AM 9:30

開始：AM10:00 終了：正午

豊富町定住支援センター
ふらっと★きた

天塩郡豊富町東1条6丁目

入場無料

高校生と共に宗谷地域の未来を創ろう



Part 1 高校生たいむ
宗谷管内の高校生が探究を通して地域に関わる発表を行う時間を設けました。高校生ならではの独自の視点や気づきをお楽しみください。

Part 2 パネルディスカッション
テーマ「若者を呼び込むための魅力ある宗谷の地域づくり」
宗谷管内の高校生を対象としたアンケート結果をもとに、管内で活躍する4名の方に討論いただきます。



コーディネーター
パネリスト

Profile

Designed by 鎌田 美優
(育英館大学3年)

- ◆ 主催：北海道開発局 稚内開発建設部、北海道宗谷総合振興局
- ◆ 後援：豊富町
- ◆ 協力：北海道豊富高等学校、北海道教育庁 宗谷教育局、育英館大学、株式会社 エフエムわっかない

Soya Labo10 シンポジウム

- Today's Program -

1. プロローグ

- 北海道開発局 稚内開発建設部長 巖倉 啓子

2. 高校生たいむ (発表校)

- 北海道豊富高等学校
- 北海道枝幸高等学校
- 北海道礼文高等学校

の生徒さんたち

・・・休憩・・・

3. パネルディスカッション (コーディネータ)

- 育英館大学教授 佐賀 孝博さん

(パネリスト)

- シンガーソングライター エビナ マスジさん
- ポラリス・ネイチャーガイズ&
コンサルタンツ代表 嶋崎 暁啓さん
- 芳野牧場代表 芳野 福一さん
- 枝幸町三笠山展望閣管理人 鷺見 道子さん

ラ ボ テ ン

★★★官民連携のプラットフォーム★★★

SoyaLabo10（通称：ラボテン）とは、第9期北海道総合開発計画及び北海道総合計画の推進のため、稚内開発建設部と宗谷総合振興局が主体となり、以下の3つの取組を中心として、継続的に地域課題の解決に取り組むための官民連携のプラットフォームです。



～ 来場のみなさまへ ～

本日は『Soya Labo10シンポジウム』にお越しいただきありがとうございました。



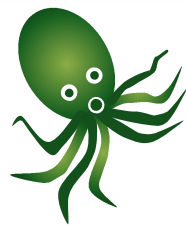
来場アンケート記入の協力をお願いしますアンケート入力用QRコードを読み取りのうえ、入力をお願いします。
締切は12月12日（金）17：00です。

調査の趣旨

稚内開発建設部と宗谷総合振興局では、「若者を呼び込むための魅力ある宗谷の地域づくり」をテーマに、関係機関と連携して課題解決に向けて取り組んでおります。令和6年度に引き続き、令和7年度も管内の高校生を対象としたアンケート調査を実施しました。

調査期間

●令和7年7月～8月



アンケート内容はこちら



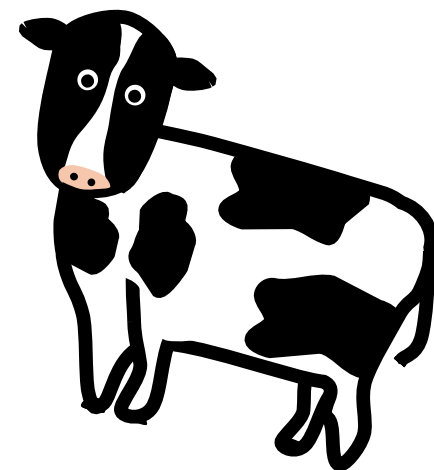
対象・方法

●アンケート対象者：宗谷管内の高校生全員

～ 管内8校の高校生から669件の回答～

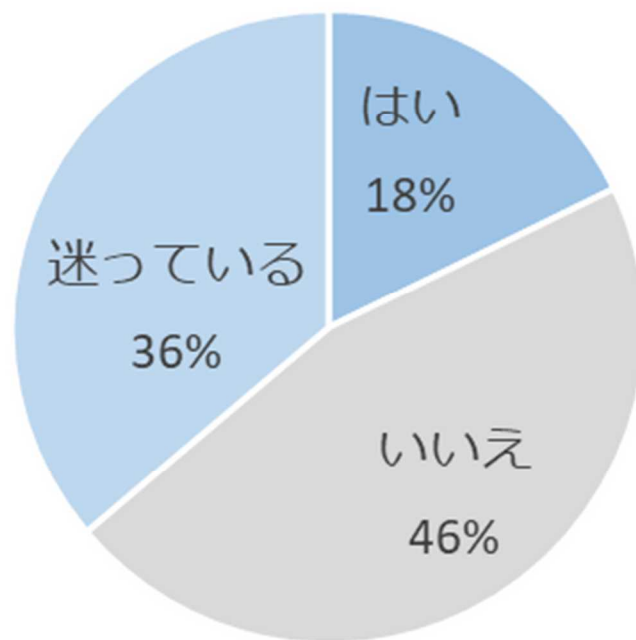
稚内高等学校	豊富高等学校	浜頓別高等学校	枝幸高等学校
利尻高等学校	礼文高等学校	稚内養護学校	稚内大谷高等学校

●調査方法：Web・紙

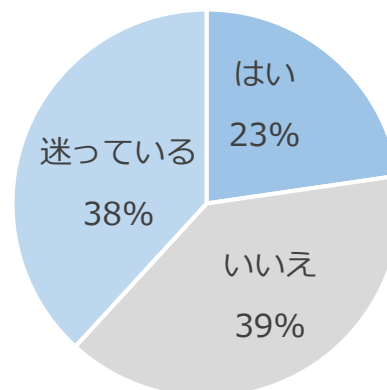


01 将来、どこに住む？

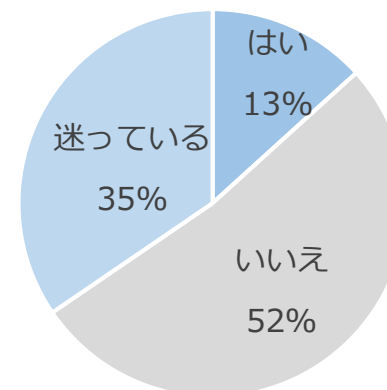
Q 将来、宗谷管内10市町村のどこかに住みたいと思いますか？



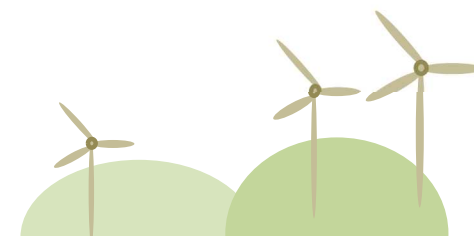
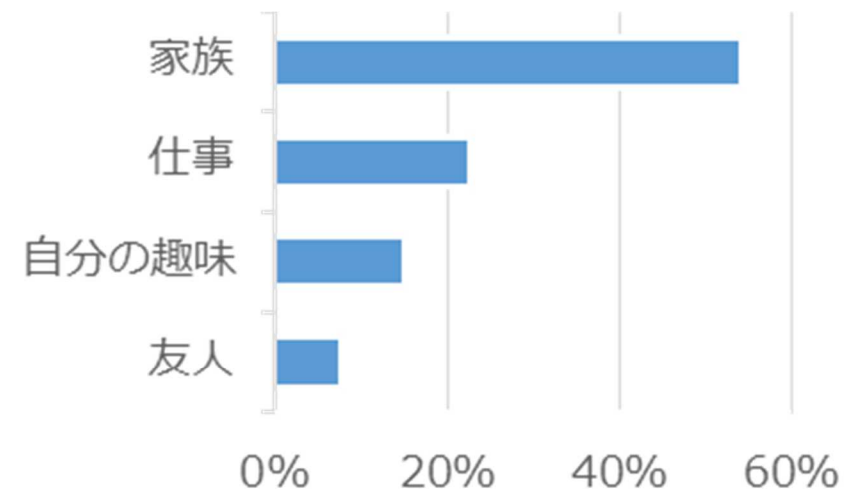
〔男性〕



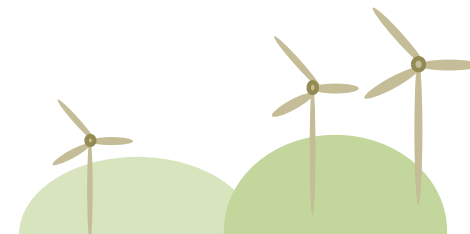
〔女性〕



Q 宗谷地域に住むことを前提とした場合、何を優先するのか順位をつけてください。 ※1位件数

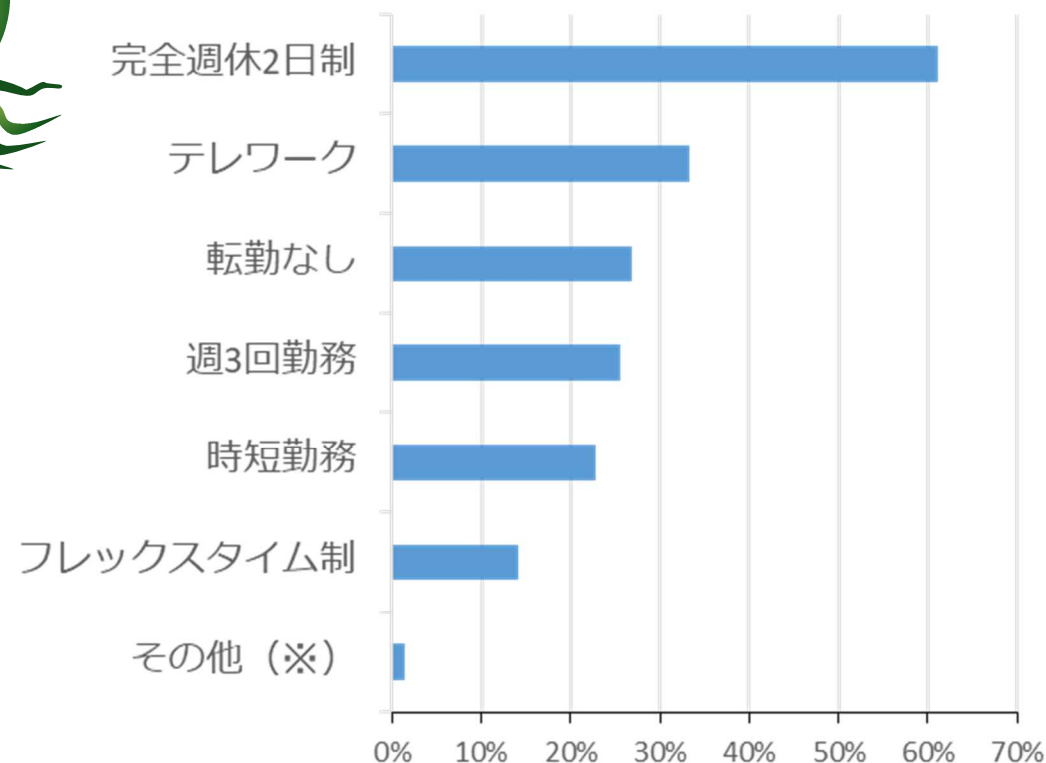
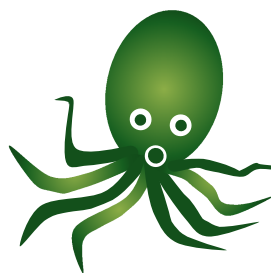
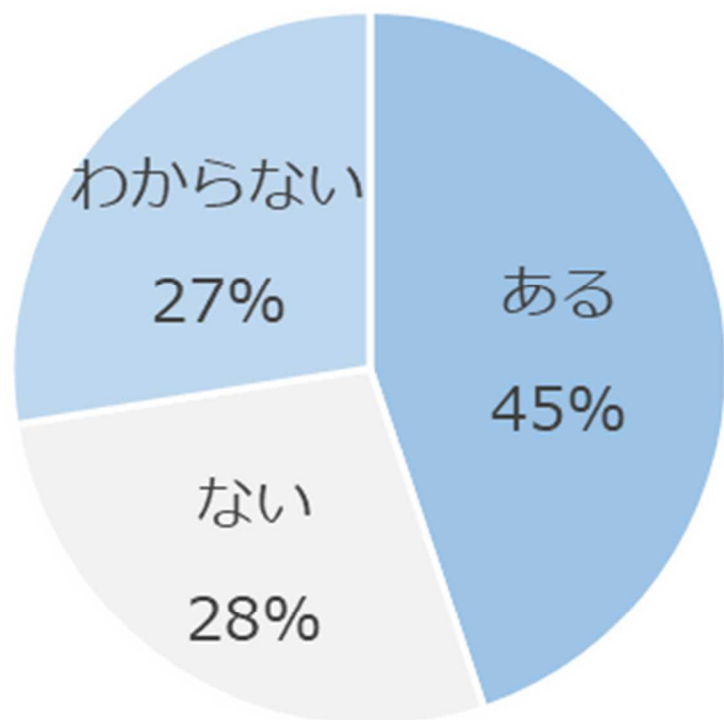


02 高校生が求める働き方

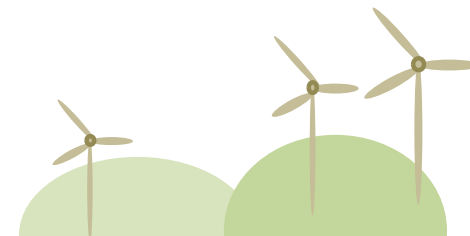


Q 今住んでいるところにはいろいろな「働き方」の選択肢があると思いますか？

Q 今住んでいるところで働く場合、どのような働き方があったら良いと思いますか？

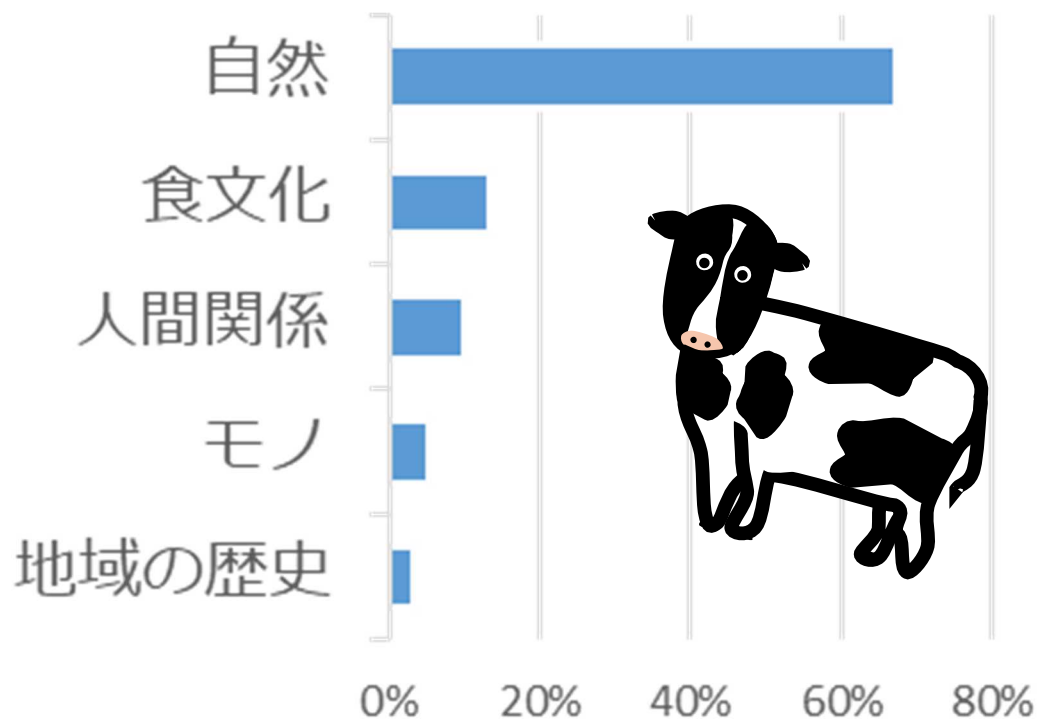


03 高校生が考える地域の豊かさ



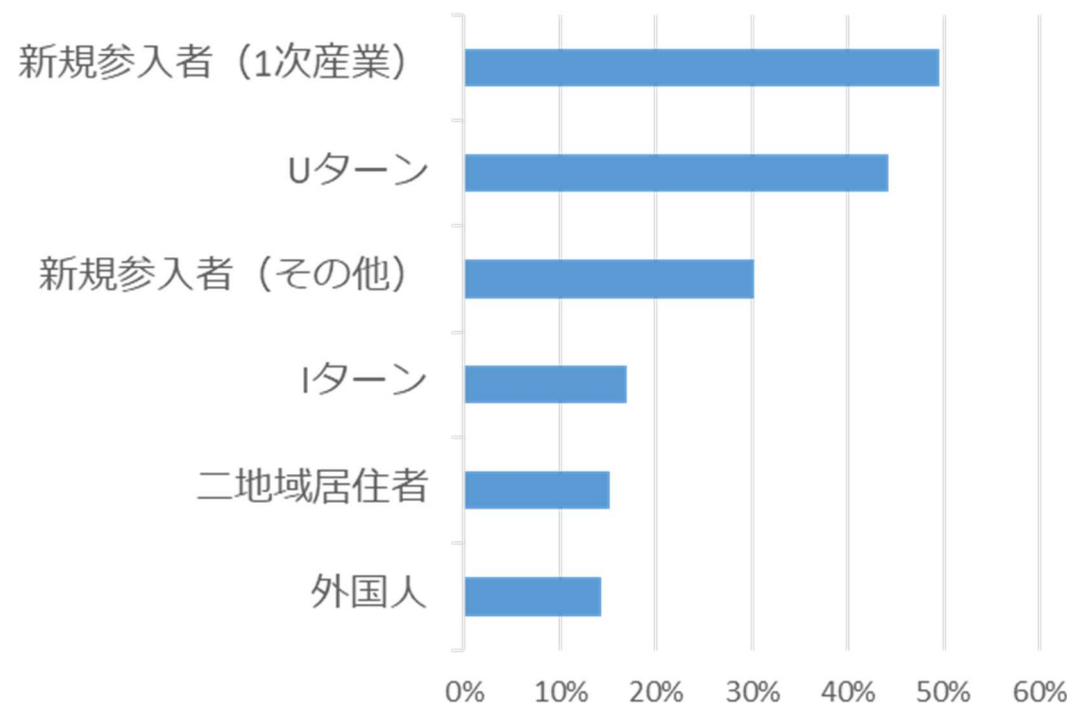
Q 地域の豊かさについて、優先順位をつけてください。

※1位件数



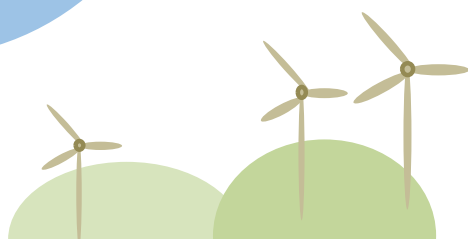
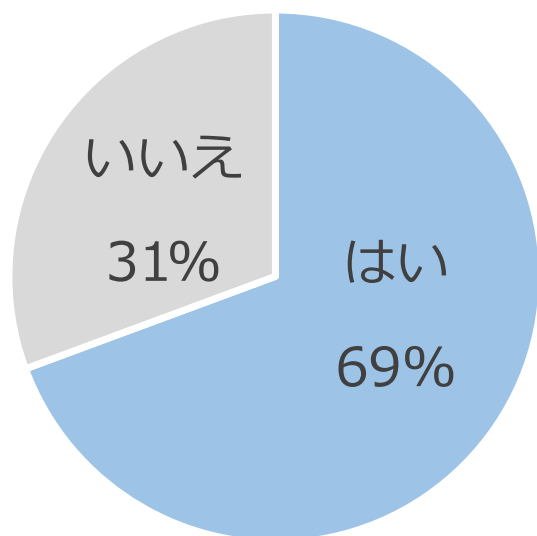
Q どのような人が宗谷地域に増えたら活気がでると思いますか？

※1位件数

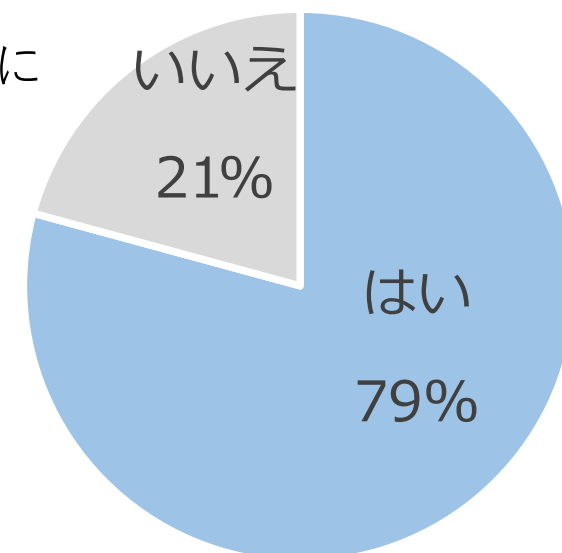


04 高校生が求める地域

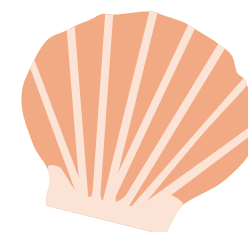
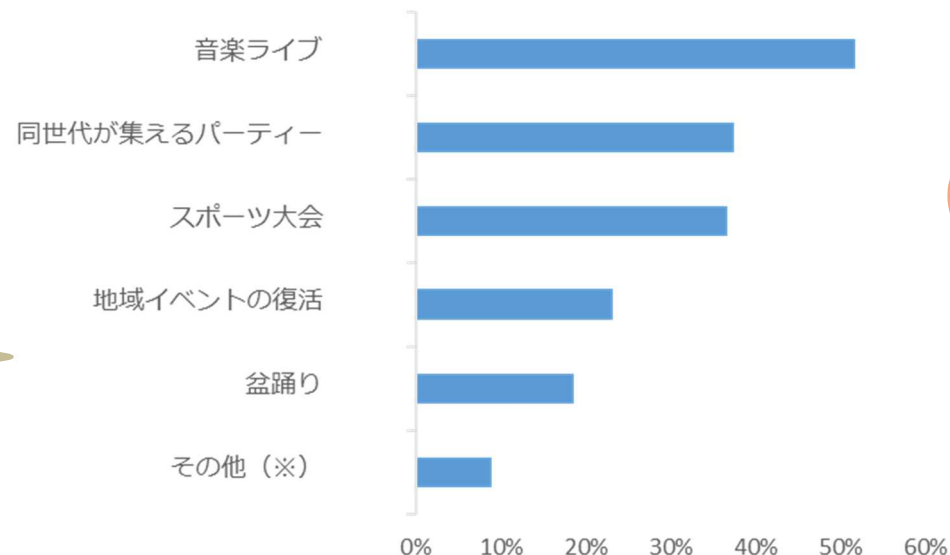
Q 自分の住んでいるところに
インターネット・SNSを除く
「同年代が集える場」が欲しい
ですか？



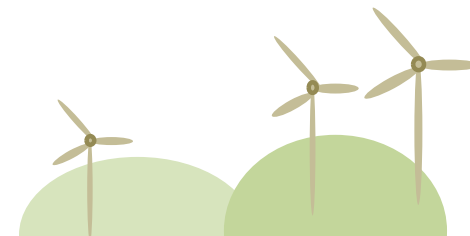
Q 自分の住んでいるところに
新たな地域イベントがあれば
よいと思いますか？



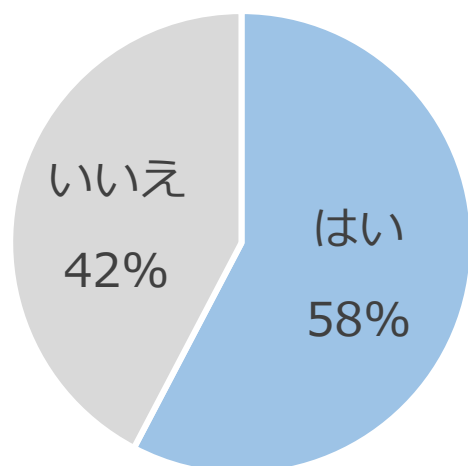
具体的には・・・



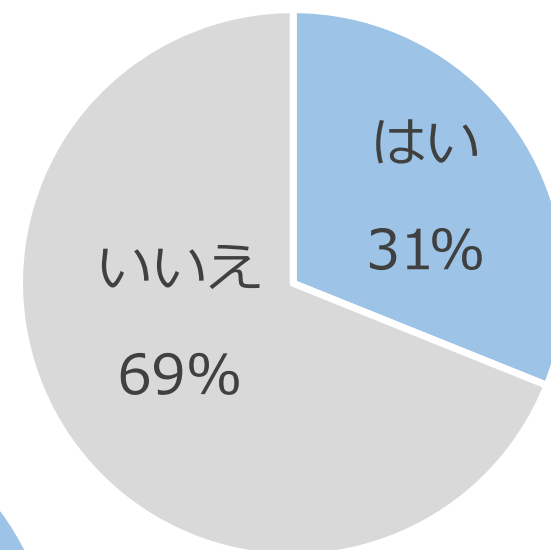
05 地域イベントへの参加意欲



Q 高校生が参加できる地域活動やイベントがあれば参加したいですか？

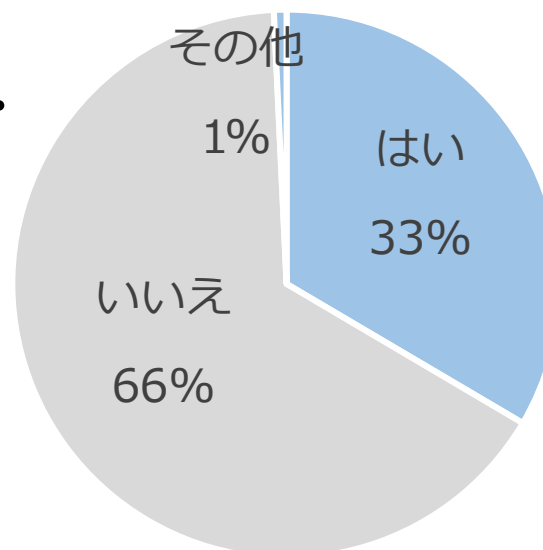


Q 地域活動やイベントの企画・運営に自分も携わりたいですか？

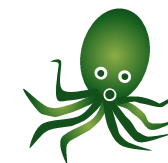


Q 自分が地域に貢献できることがあると思いますか？

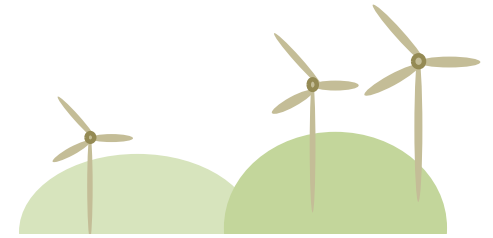
具体的には・・・



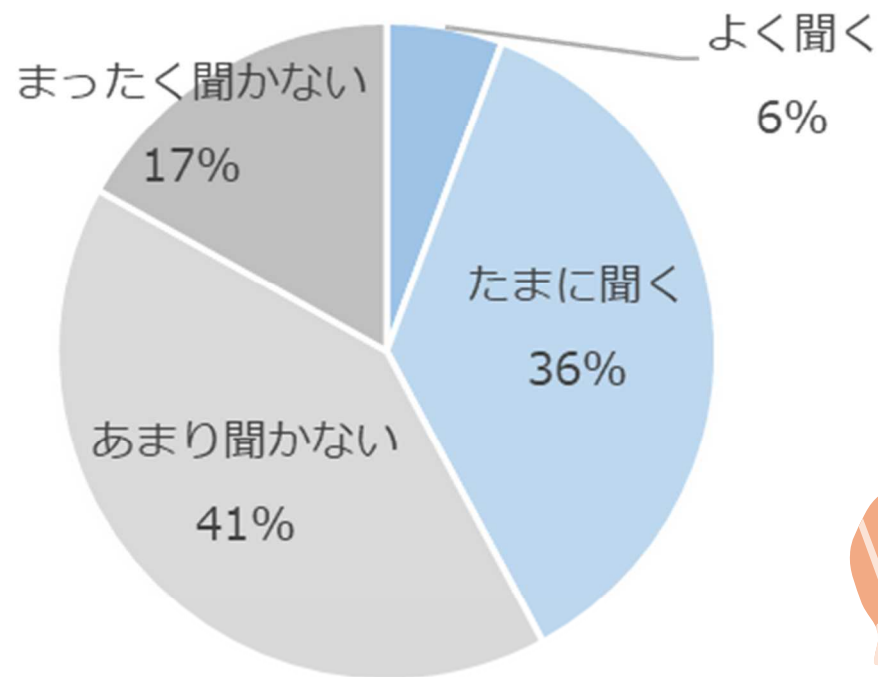
地域イベントへの参加・運営 ゴミ拾い
地元に戻って働く 技術をもって帰ってくる
地域を盛り上げる 飲食店の開業 高齢者を元気づける
ポスター作成などの広報活動
演劇での地域活性化 医療従事者になる
この地域で育ち、この地域で見聞きしたもので暮らしていること
自体が貢献になっている



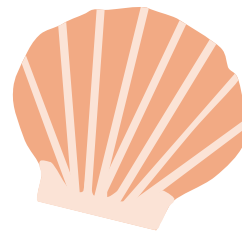
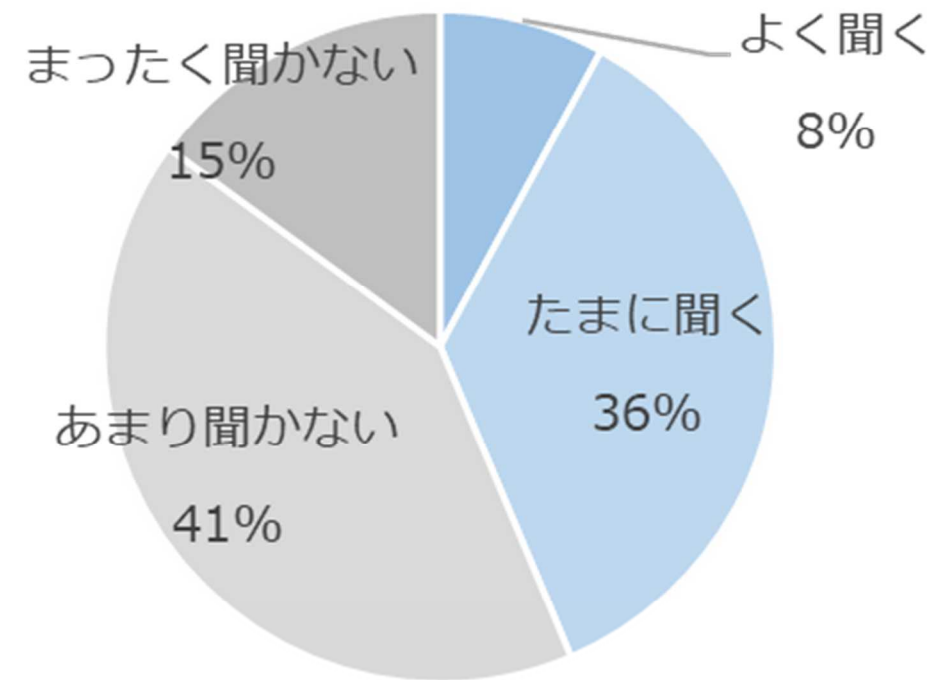
06 高校生が感じている地域の雰囲気



Q 自分の周囲の大人達から「ここに住んでいて楽しい」といった前向きな発言を耳にしますか？



Q 自分の周囲の大人達から、「今の仕事はやりがいがある」といった前向きな発言を耳にしますか？



SoyaLabo10ミーティングの意見〔令和7年10月30日開催〕

アンケート結果を見て気になった回答とその理由

R7 アンケートの中で高校生にさらに深掘りして聞いてみたい質問 とその理由

○稚内にUターンしたいと思う理由、どういう条件だったらUターンしたいと思うのか。高校生が望む「集える場所」は勉強するためのものなのか、遊ぶ場所なのか。高校生はどのようなイベントを望んでいるのか。実際に高校生と会って話をしてみたい。

○高校生から見た夢や希望は何だろう。仕事に関するアンケートを深掘りして、周りの大人から感じる仕事への感覚やどんなライフスタイルがいいかを聞いてみたい。

○どのようなライフスタイルを求めているのか。どのような働き方、業種を希望しているのか。地域ごとにどのような集える場所が必要と思っているのか。どういう形でイベントに参加できて、どんなことを担いたいのか。

S o y a L a b o 1 0 の中で大学生や高校生とともに新たな試みを すれば良いと思うもの

○一方通行で終わるアンケートではなく、学生が考えたアイデアを具現化する仕組みづくりや高校生が提言する機会を与えられないか

○YouTubeライブのように双方向でコミュニケーションを取りながら、高校生の仕事に対する考えなどを聞く機会をつくり、その場でスマホでアンケートに答えてもらう。

○収益を得るイベントなど、やったことを実感させてあげたい。目的にアプローチできるアンケートを行い、働きたい目的を知ること。

【稚内市】

○ 1自治体でできることは、教育環境を整える程度であり、インフラ整備や産業振興など、**国や道と並行して取り組んでいきたい。**

【猿払村】

○ 日本人の若者を本村や宗谷に呼ぶ呼び込む対策も継続していかなければならないが、外国人材が活躍する地域づくりも並行して進めなければいけない。

【浜頓別町】

○ 子育て支援については、高校生までの医療費の無償化や認定子供園の無償化、学校給食の高校までの提供のほか、様々な事業を展開。また、働き方改革、地方創生、移住定住促進、地域経済の活性化などの観点から各種事業に着手しているが、なかなか**目に見える効果として現れていない**ところ。

【中頓別町】

○ 今年度、今のところ母子手帳の発行がなく、『出生ゼロ』の可能性がある。

○ 基本的には、**地域のある課題を地域の持っている資源で解決する**、そこがスタートだと強く思っている。

【枝幸町】

○ 高校卒業して地元の企業に就職した場合に事業者に対して、新しく卒業した子供が地元に残って働く場合には1人当たりいくら、それ以外に地元の就職した中で資格及び免許、講習を受けたものに対して助成措置を講じるようなこともやっている。

【豊富町】

○ 若者にとって、魅力は何か、地元に来る魅力は何かというR6アンケートの中で、仕事が出てきている。要するに、**『稼ぐことができる地域』というものを確立していかなければいけない**思っている。

○ 仕事とプライベートの事業をプロモーションするにしても、やっぱり**宗谷地域の持続的な発展と地域の魅力を高める取り組みは、欠かすことはできない**と思う。各市町村それぞれのまちづくりとともに、**宗谷地域の連携による取り組みが今後ますます重要**になる。

【礼文町】

- 移住定住促進では、持ち家住宅取得への支援や移住体験住宅の提供などを行っている。**町外からの移住者を受け入れて、定住につなげる環境整備を進めている。**
- 礼文高校では、海外との交流事業や学習生活面での支援を通じて、生徒が島の中で学び、地域とともに成長できる環境を整えている。礼文高校を選ばれる学校として、内外に発信して、地元進学や将来的な安定につなげることを目的として目指している。

【利尻町】

- 若者の移住希望者に対して、昆布干しや漁業の見習い、観光業の手伝いなど、島ならではの仕事を組み合わせることで、**生計を立てながら地域と関わるができる柔軟な働き方というものを提案**している。
- **移住者の住宅政策も進める**、それから若者が結婚し島に定住してくれるという中では子育ての部分についても、政策の中できちっとしていかなければという思いがある。

【利尻富士町】

- 町内唯一の大企業である役場自体にも入ってくれる人がおらず大変苦しんでいるが、**町内におけるすべての産業、職種の分野において、人手不足ということは顕著に現れている。**
- 本町の就労環境は、**基幹産業の特性上、極端に夏場に集中**しており、1年を通じた仕事を創出しなければ島の外からの移住により若者を呼ぶ呼び込むことは難しいなと考えている。

【幌延町】

- 移住定住については、企業誘致や地域おこし協力隊制度の活用、住宅取得等の補助、子育て世代への支援策などの充実に努めてきたが、成果は厳しいものがあり、**結果的に地域の魅力を高めるまでには至っていない。**他にも、**行政側が気づいていないだけで、地域の魅力を高める手法や方法があるのではないかと**考えさせられるところ。
- これまでの行政的な手段を改め、まちづくりの楽しさや難しさを感じられるような施策、立案から決定、実施、その後の検証に至るまで、臨時的に職員のような体験をして、**一緒にまちの魅力を高める仕事ができないか、そんな仕組みを今後考えることができるかどうか、**今悩んでいるところである。

地域運営組織・NPO法人ミナといかん 概要



【特定非営利活動法人(NPO)法人ミナといかん】

○設立等	<ul style="list-style-type: none">・令和5年度：個別懇談会説明会5回、検討会2回、準備会5回・令和6年4月16日：設立総会・令和6年6月13日：北海道設立認証承認・令和6年7月1日：法人登記
○名称	<p>「ミナといかん」：「ミナ」はアイヌ語で「笑う」の意味で、「といかん」は地域の呼び名です。</p> <ul style="list-style-type: none">・「といかん」で「みんな」笑顔で暮らしていきたい・「みなと」のように「みんな」が集まる地域や居場所になってほしい
○組織類型	問寒別地区・地域づくりビジョンに基づく地域運営組織をNPO法人の形態で運営します。
○目的	<ul style="list-style-type: none">・地域課題の解決に向けて具体的な取組を協議し、地域に必要とされる機能を提供します。・地域の文化や歴史を守り、すべての人がいつまでも安心して健やかに住み続けられる地域づくりに貢献します。
○コンセプト	<p>これまで地域住民のボランティアで成り立っていた地域活動を、地域運営組織の専属職員が地域ボランティアの協力のもと、必要な取り組みを実践実行し、地域負担を軽減するNPO法人です。</p> <ul style="list-style-type: none">・専属職員が複数業務をマルチにこなしていきます。・地域内外のいろいろな世代が活躍できる場を創出します。・ボランティアの部分と対価の発生する部分を整理して、しっかり稼ぐしくみをつくります。・皆が楽しいと思える運営を心がけます。
○会員	<p>正会員、賛助会員、その他</p> <ul style="list-style-type: none">・正会員：法人の目的に賛同する個人で、総会の議決権を持ちます。会費は年会費3,000円です。 (農村地区7人、市街地12人、幌延地区1人、計22人)・賛助会員：法人の目的に賛同して事業を賛助する個人及び団体です。会費は年会費1口500円です。
○役員	<ul style="list-style-type: none">・理事：4人（代表理事1人、副代表理事1人、理事2人）・監事：2人

問寒別地区・地域運営組織（NPO法人）の地域活動としくみ

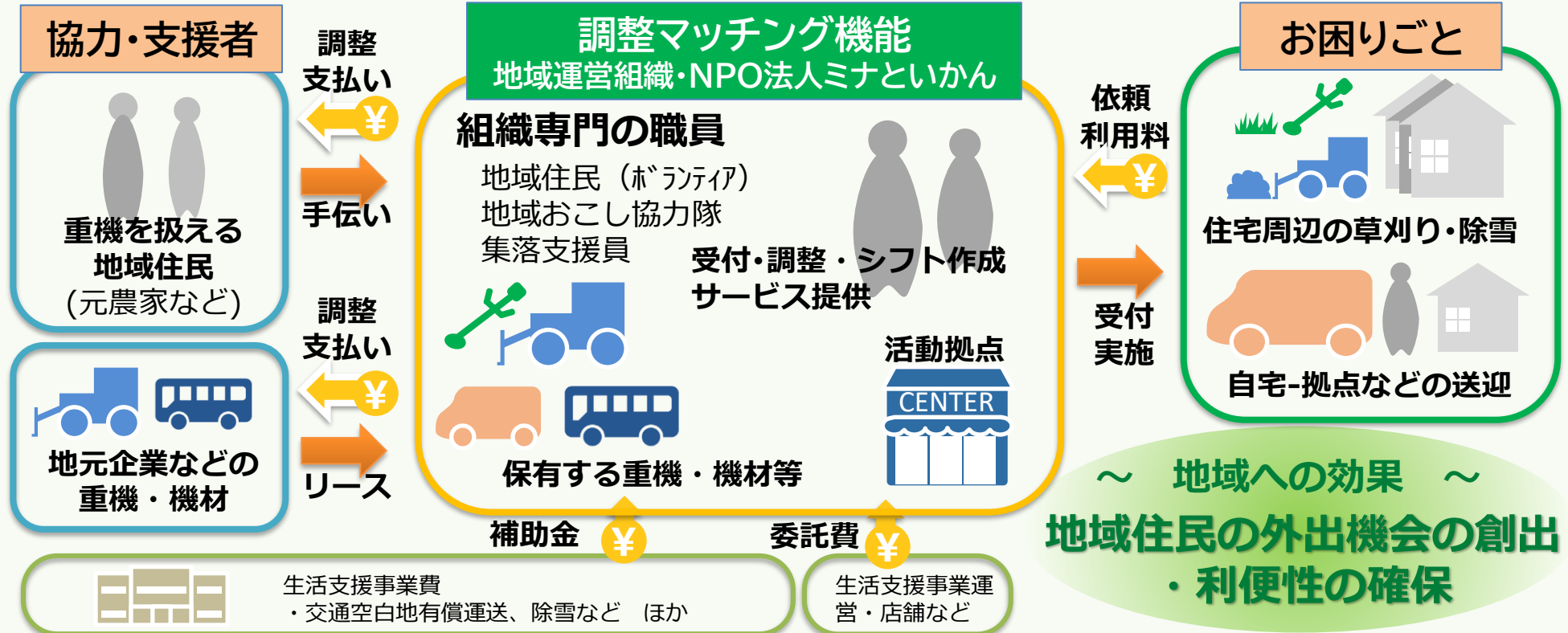
すぐに
取り
組む

時間
を
かけ
取り
組む

- ① **住み続け支援**：地域交通、日常生活の支援などのしくみ
- ② **公共空間の管理**：地域の施設などの管理のしくみ
- ③ **交流・教育**：地域行事、団体活動支援、地域自主活動などのしくみ
- ④ **民間事業支援**：地域のしごと支援のしくみ

たとえば…、「①住み続け支援」とは次のような活動です

○地域運営組織の専属職員や地域のボランティアが、自前や業者から借りた機材を使って、住み続けるために必要な生活の足（地域交通）、草刈り、除雪サービスなどを行います。サービスを受けた住民は利用料を払います。



地域運営システム：上記のマッチングによる支えいのしくみを簡素化省力化するためのしくみづくりを目指します

○地域デマンド交通（自家用有償旅客運送）等

- ①問寒別地区・中川町（天塩中川駅）への低料金でのデマンド交通提供
 - ・運行日：原則平日9～17時
 - ・料金：100～900円
- ②おでかけ便：3名以上で片道2時間圏内の送迎を支援します
 - ・料金：無料

○住み続け支援事業

地域で住み続けるうえで必要な機能を提供します

- ・草刈り、除雪、畑おこし、見守り、話し相手、行事、事務作業等

○公共空間等管理

地域の環境整備により住民の生きがいや健康づくりを支援します

- ・ブルーベリー果樹園、農村公園維持管理、パークゴルフ場維持管理
- ・移住住宅管理 等

○交流教育事業

地域の結びつきを強め、誰もが活躍できる場を創出するため支援します

- ・地域行事、団体活動、地域活動等支援

支え合いの仕組みづくり

有償 特定非営利活動（NPO）法人 ミナといかん

ボランティアスタッフ募集！

問寒別地区に誕生した「NPO法人ミナといかん」では、誰もがいつまでも暮らし続けられる「い・かん」を目指しています。

そこで、地域の皆さまの得意分野を活かして、地域で必要とされていることをお手伝いいただく有償ボランティアスタッフを募集します。

皆さんがそれぞれできることで地域を支えていくしくみをみんなで作っていきましょう。



お手伝いいただきたい内容

分野	主な内容	謝礼 (30分)	備考
地域交通	問寒別地区内、天塩中川駅を町車両で送迎	500円	講習受講
環境整備（夏）	草刈、畑	600円	
環境整備（冬）	除雪	700円	
生活支援	見守り・話し相手	400円	
家事支援	簡単な掃除・洗濯・買物代行・軽作業など	500円	
外出支援	通院、通学、買物同行など	400円	
行事支援	行事開催のお手伝い	400円	
事務代行	事務作業のお手伝い	400円	
その他	こんなことができます！募集	400～円	

年齢性別は問いません。
まずはボランティア登録していただき、希望者の内容と日程で、都合がつくときに参加してください！
ご不明な点、詳細はお問い合わせください。

【登録とお手伝い方法】

- ・ボランティアスタッフ登録申込書ご記入
- ・本人確認書類、謝礼金振込口座がわかるものと一緒に申込書を提出
- ・保険等ご加入（NPO負担）
- ・事前の依頼調整に対応できる場合に出動
- ・謝礼受取（毎月精算）

特定非営利活動（NPO）法人 ミナといかん

〒098-2943 天塩郡幌延町字問寒別 3 5 番地

☎ 01632-9-7067（告知端末機）

現在改修中！

仮事務所「町民会館」6-5459（告知端末機）

ただいま準備中！



特定非営利活動（NPO）法人 ミナといかん

暮らしのサポート受付開始！

問寒別地区に誕生した「NPO法人ミナといかん」では、誰もがいつまでも暮らし続けられる“い・かん”を目指しています。

今回、地域の皆さまによる助け合いのしくみをスタートさせて、いつまでも暮らせる地域になるよう活動していきます！



内容と利用料	分野	主な内容	利用料（30分）
	地域交通	問寒別地区内、天塩中川駅送迎	100円～1,000円
	環境整備（夏・冬）	夏：草刈、畑おこし。冬：雪かき、車庫雪下しなど	400円～500円
	生活・家事支援	見守り・話し相手、掃除・洗濯など	300円
	行事支援・事務代行	行事開催のお手伝い、事務作業のお手伝い	300円
	その他	こんなことができますか？（何でもご相談を...）	300円～



有償ボランティアスタッフも引き続き募集しています！
みんなの力で暮らしやすい地域をつくりましょう。
ボランティアするとお手当がもらえますよ。

特定非営利活動（NPO）法人 ミナといかん

代表 芳野 福一

〒098-2943 天塩郡幌延町字問寒別 3 5 番地

☎/FAX 01632-9-7067（電話・告知端末機）

ただいま準備中！



各種事業の実施例（ほんの一例です）

みんなで一緒に公園を綺麗にしませんか？

有償ボランティアスタッフ募集中

日時 7月18日（金曜日） 9:00～
場所 問寒別農村公園

お問い合わせ先 NPO法人ミナといかん
TEL 01632-9-7067

車のタイヤ交換

そろそろ夏タイヤに交換しませんか？

料金	
65歳以上	300円
65歳未満	2000円

お問い合わせ先
NPO法人 ミナといかん
TEL 01632-9-7067

お気軽にお問合せください。

問寒別小中学校 学芸会

地域交通運行

10月19日（日）9:30お迎え便運行
お昼ごろ終了次第お送りいたします

救急救命講習会

いざという時のために
お子様連れでの参加も可能です。

受講者限定！！
パン屋さんのパンが
購入できる！！

10月29日（水）
10:00～11:30（90分）
問寒別生涯学習センター

講習終了後に認定証が交付されるため、
10月17日までにNPO法人 ミナといかん
までお申し込みください。

心肺蘇生法、AED（自動体外式除細動器）の使い方、止血法、包帯の使い方などを学び、いざというときに人を救うための知識と技術を習得しましょう。

申し込み電話番号
NPO法人 ミナといかん
TEL 01632-9-7067

講習終了後にみんなで
パンを食べながら意見
交換をしましょう！

お茶会

NPO法人 ミナといかん

7月7日～11日まで
8日は午後のみ
9時～16時まで

茶

美味しい新茶とお菓子を
ご用意してお待ちしております。

デマンド交通もご利用いただけます。

高齢のお姉さま・
お兄様～お子様連
れの方まで！
大歓迎です

お問合せ電話番号
01632-9-7067

第7回

子どもたちの未来が ワクワクすること 始めよう!

ワクワクとよみ 未来会議

10.16 (木)

18:00~20:00

豊富町
定住支援センター

参加費無料

小さな地域を
営み続けるために
私たちが取り組むことは?



申込はこちら

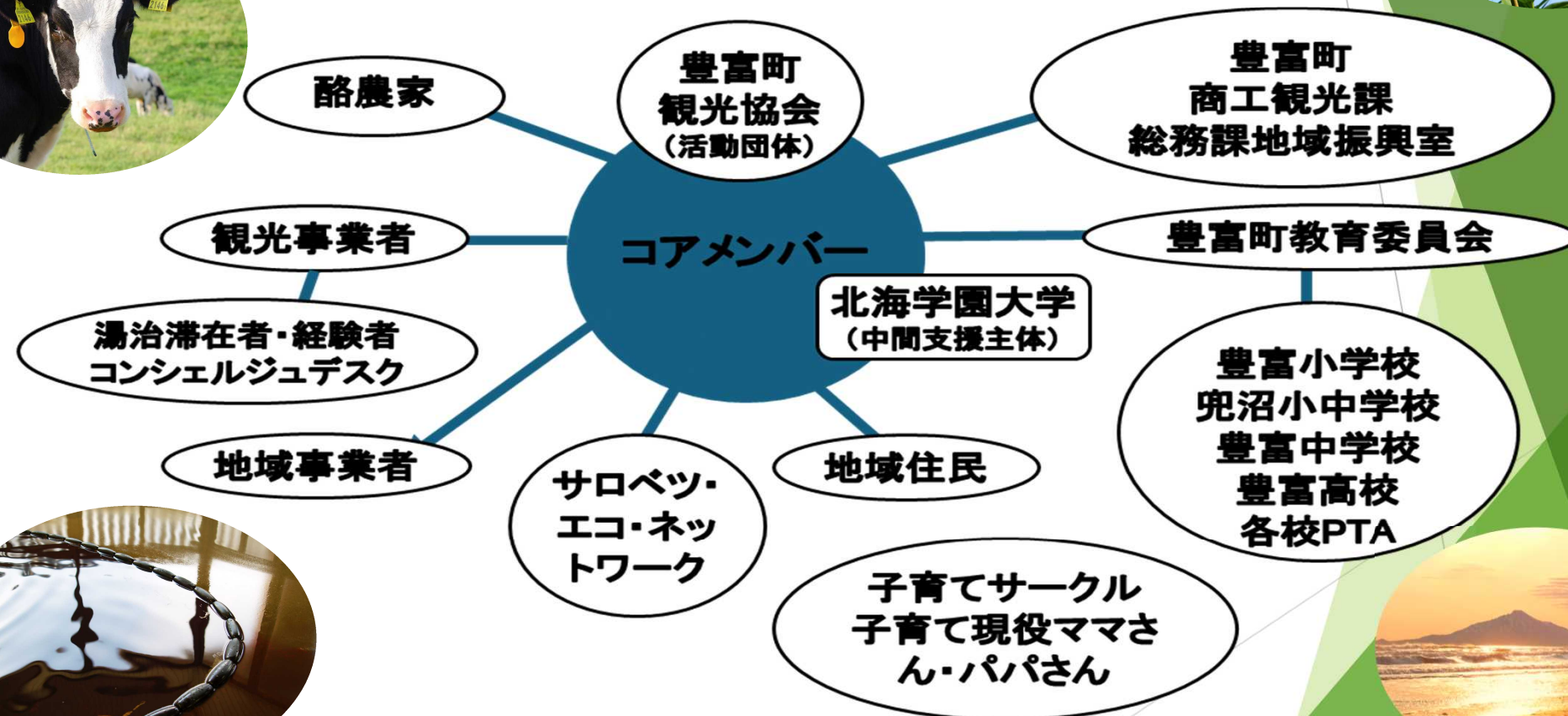
幌延町間寒別地区と石狩市浜益区の
取り組みを聞いて考えよう!



共催 豊富町観光協会・北海学園大学 + EPO北海道



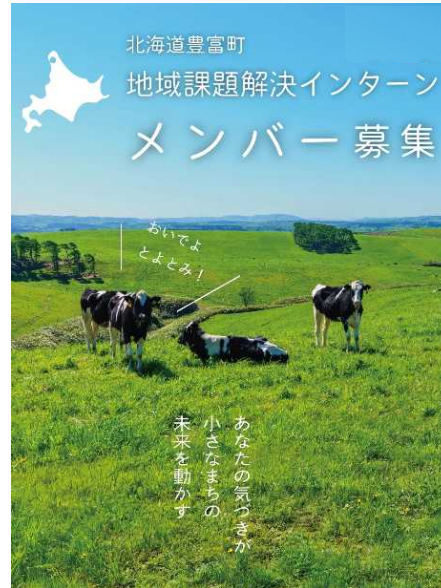
ワクワクとよとみ未来会議 地域プラットフォーム



大学生インターンシップ受入



公設塾で学習支援



カヤックで清掃ボランティア
ガイドツアーのサポート



酪農家さんのサポート



温泉宿泊施設のサポート



他にも...商品製造のお手伝い
地域イベントの運営サポート
住民ヒアリングなど



SNSでの自主的な情報発信



札幌のキャンパスで自主的なPR活動

テントサウナイベント（豊富温泉）



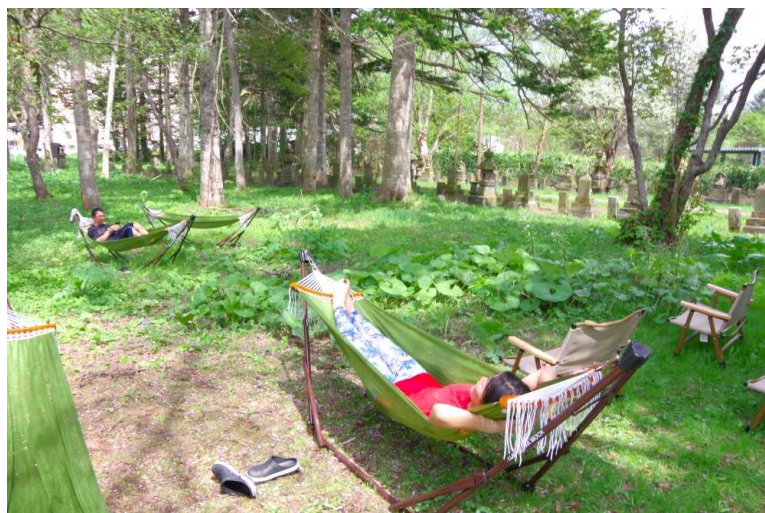
テントサウナ外観



テントサウナ内部



燃料に廃材などを活用



ハンモックで外気浴



特製サウナ飯とサウナドリンク



イベントポスター